

動物実験に関する検証結果報告書

愛知学院大学歯学部

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2020年3月

愛知学院大学歯学部
歯学部長 栗田 賢一 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 浦野 徹



対象機関：愛知学院大学歯学部
申請年月日：2019年6月28日
訪問調査年月日：2019年12月2日
調査員：長尾静子（藤田医科大学）
北川 章（至学館大学）

検証の総評

愛知学院大学は明治9年に曹洞宗専門学支校として設立後、4つのキャンパス（日進、名城公園、楠元および末盛）に9学部16学科および大学院9研究科、短期大学部1学科および専門学校で構成される私立大学である。昭和36年に楠元キャンパスに設立された歯学部には、楠元および末盛キャンパスに飼養保管施設があり、マウス、ラット、モルモットおよびウサギを対象に動物実験が行われている。「愛知学院大学歯学部動物実験実施規程」のもとで動物実験委員会が組織され、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価等が文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則して概ね適正に実施されている。2か所の飼養保管施設は基本指針および環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則して実験動物の飼養保管および動物実験が適正に行われている。また、遺伝子組換え動物の使用等に関する関連法規に関しても遵守されており、実験動物管理者の職務も適切に行われている。しかしながら、情報公開については一部不十分な点が見受けられるので、今後より一層充実されたい。以上の点を総合的に判断すると、愛知学院大学歯学部における動物実験は、概ね適正に管理・実施されている。飼養保管施設の良好な管理体制を維持し、適正な動物実験の実施が継続されることを期待する。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

| |
|---|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。<input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。 |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「愛知学院大学動物実験指針」が定められ、学長が愛知学院大学で実施されるすべての動物実験の実施に関して統括責任を有すること、動物実験を実施する学部が動物実験に関する規程を制定し、学長の承認を得ることが定められている。これを受けて、歯学部では「愛知学院大学歯学部動物実験実施規程」が定められており、その内容は基本指針に則したものである。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。<input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。 |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p> |

2. 動物実験委員会

| |
|--|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。 |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「愛知学院大学歯学部動物実験実施規程」および「愛知学院大学歯学部動物実験委員会内規」において基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 |

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。 |
| 4) 改善に向けた意見 愛知学院大学歯学部動物実験実施規程に定められている委員の組織構成に従い、愛知学院大学歯学部動物実験委員会内規の委員の組織構成を更新されたい。 |

3. 動物実験の実施体制

| |
|---|
| 1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。 |
| 2) 自己点検・評価の妥当性 「愛知学院大学歯学部動物実験実施規程」「愛知学院大学歯学部動物実験委員会内規」および「愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則」のもとで、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定されており、これらの手続きに必要な様式も整備されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。 |
| 3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。 |
| 4) 改善に向けた意見 特になし。 |

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

| |
|---|
| 1) 機関による自己点検・評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。 |
| 2) 自己点検・評価の妥当性 「愛知学院大学歯学部・薬学部微生物安全管理規程」および「愛知学院大学組換え DNA 実験安全管理規程」のもとで、病原体の感染動物実験および遺伝子組換え動物を用いる実験の手続きが規定されており、これらの手続きに必要な様式も整備されている。麻薬・向精神薬の使用について行政への手続きも行われており、安全管理を要する動物実験の実施体制が整備されて |

いる。また、有害化学物質を投与する動物実験に関する実施体制は、計画書が提出された段階で動物実験委員会にて協議し個々に定められている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、「安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「該当する動物実験の実施体制が定められている。」とする。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

感染動物実験および有害化学物質投与動物実験について、具体的な運用細則等を定めることが望ましい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「愛知学院大学歯学部動物実験実施規程」「愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則」「飼育保管マニュアル」および「災害対策マニュアル」等が規定され、飼養保管施設の管理者および実験動物管理者が定められ、基本的な管理体制が整備されている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

愛知学院大学では、歯学部以外に薬学部で動物実験を実施するが、「愛知学院大学動物実験指針」に基づき、それぞれ独立した体制を執り運用している。薬学部は平成28年度に外部検証を実施している。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

| |
|---|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会により動物実験計画書の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の視察、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p> |

2. 動物実験の実施状況

| |
|--|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>基本指針や機関内規程に則して動物実験計画書の審査が行われ、平成 30 年度には 54 件の計画書が承認された。自己点検報告書（様式 7：動物実験実施状況）、自己点検報告書（様式 12）および自己点検報告書（様式 13：飼養保管施設管理状況）の提出率はそれぞれ 100%である。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p> |

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

| |
|---|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「愛知学院大学歯学部・薬学部微生物安全管理規程」および「愛知学院大学組換え DNA 実験安全管理規程」に則して、安全管理を要する動物実験が行われている。有害化学物質を投与する動物実験（1件）は、動物実験委員会で審議され安全に実施された。アイソトープ施設は廃止されており、放射性物質を用いた動物実験は行われていない。感染動物実験では、飼育室の作業動線に一部再考の余地がある。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</p> |
| <p>4) 改善に向けた意見</p> <p>感染実験室における作業動線を再考し、明文化することを検討されたい。</p> |

4. 実験動物の飼養保管状況

| |
|--|
| <p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
| <p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検報告書によって飼養保管施設は動物実験委員会により把握されている。実験動物管理者のもとで、飼養保管基準に従って飼養保管が適正に実施されている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p> |
| <p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

3 か所のうち 2 か所の飼養保管施設が使用されており、基本指針や飼養保管基準に則り、管理者および実験動物管理者によって適正に維持管理されている。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

現在使用していない飼養保管施設をマウス飼育室に運用変更する計画があることから、適切に改修されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会による教育訓練が実施され、平成 30 年度の教育訓練受講者は 12 名である。また、実習時には動物実験委員会委員によって学部学生に対して講義のなかで教育訓練が実施されている。教育訓練の実施記録や受講者の記録等は整理・保存されおり、訓練内容も概ね妥当である。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 4) 改善に向けた意見 法律改正や規程の改訂、細則や指針の策定時等の機会に再教育することを検討されたい。 |

7. 自己点検・評価、情報公開

| |
|--|
| 1) 機関による自己点検・評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針に則した自己点検・評価が適正に行われており、大学ホームページに「愛知学院大学歯学部動物実験実施規程」「愛知学院大学歯学部動物実験委員会内規」「愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則」「動物実験計画承認申請書（動物実験計画書）」「動物実験結果報告書（実施結果報告書）」等の情報が公開されている。しかしながら、自己点検・評価の結果、実験動物の飼養保管状況（動物種、動物数、施設の情報）、その他（前年度の教育訓練の実績、前年度の教育訓練の実績および動物実験委員会等）が公開されておらず、内容に一部不十分な部分がある。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。 |
| 3) 検証の結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
| 4) 改善に向けた意見 情報公開の項目の一部（自己点検・評価の結果、実験動物の飼養保管状況：動物種、動物数、施設の情報、その他：前年度の実験計画書の年間の承認件数、前年度の教育訓練の実績、動物実験委員会等）を外部検証の結果とともに追加することを検討されたい。 |

8. その他（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

| |
|--|
| <p>2 か所のキャンパスに設置されている飼養保管施設に、それぞれの専任の飼養者が常駐していることに加え、実験動物管理者が両施設を行き来することで、実験動物を常に適正に管理している。実験動物管理者は公私立大学実験動物施設協議会等の教育訓練を受講しており、動物実験に関する法律等の改定内容等の最新情報を入手していることも高く評価される。3 つの自己点検報告書（様式 7、様式 12、様式 13）を毎年提出する実施体制とすべての報告書における 100%の提出率は、動物実験を適正に実施しようとする意識の高さの表れである。</p> |
|--|

日実動学-外検発 第R1-14号-報

検証実施証明書

愛知学院大学 歯学部
歯学部長 栗田 賢一 殿

貴機関は、公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

2020年3月6日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 浦野 徹

